



## 第1回 シリコンバレー学生インターンシップ研修 参加者募集（2007年）

始めに以下（それぞれにリンクがあります）をお読みください。

- ◆ [シリコンバレーって？](#)
- ◆ [誰が応募すべき？](#)
- ◆ [どんな内容なの？](#)
- ◆ [参加するとどんなメリットがあるの？](#)
- ◆ [英語力は必須なの？](#)
- ◆ [誰が審査するの？](#)

東北大学では2006年5月、海外への情報発信、産学連携、および国際交流の促進などを目的に、アメリカ、カリフォルニア州、シリコンバレーに米国代表事務所をオープンしました。

2007年4月26日、27日に、本事務所のオープニングセレモニーおよび第1回東北大学国際シンポジウムが行われます。これにあわせて、標記のプログラムを下記の要領で行います。上記イベントへの参加に加え、スタンフォード、UCバークレーなどの有名大学、ハイテク企業、バイオ企業等の見学、さらに現地学生や現地で活躍する日本人との交流などインタラクティブな内容で、みなさんのキャリアパスの可能性を広げるまたとない機会ですので、ふるって応募ください。本人の熱意を重視しますが、英語レベル（\*）としてTOEFL（PBT）500点程度が必要です。

（\*）概ね、次が基準となります。TOEFL PBT/IPT: 500点、CBT: 173点、iBT: 61点、TOEIC: 600点、英検: 2級。英語力の基準は応募資格ではなく、スコアを持っていない、または基準に達していない場合でも応募は可能です。

### 記

対象：平成19年度に本学在学中の学部学生、大学院学生（留学生の場合は、十分な日本語力を備えていること）

募集人数：学生18名（教職員2名が同行します）

日程：2007年4月26日（木）出発、5月3日（木）帰国 詳細は下記参照

費用：参加費として3万円。（国内移動費、海外傷害保険、及び一部食費は自己負担となります）

その他の必要経費（国際線航空運賃、現地滞在費等）は大学負担。

応募方法：参加希望理由および本ツアーに対する抱負を下の書式にて1000字以内のエッセイにまとめ、電子メールに添付し、①氏名、②学生番号、③所属（学科、学年、研究科、専攻、研究室に所属している場合は研究室名）、および④連絡がとりやすい電話番号を記載し、件名を「2007svtour」として、[i-ship@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:i-ship@bureau.tohoku.ac.jp) [宛てに送付。](#)

申し込み用紙書式 (右クリックしてファイルに保存)

応募〆切：2007年1月28日(日) 23:00

なお、一次選考通過者は、英語能力の証明を提出していただきます。

提出期限：2007年2月7日(金) 17:00

提出先：国際交流部留学生課第一係(川内北キャンパス)まで直接持参

選考方法：エッセイをもとに1次選考、2月9日に面接による最終選考。

結果通知：2007年2月14日(水)に、最終選考通過者に直接電子メールで通知

注意事項：研修参加者には、事前ミーティング(最低2回)への参加、および現地学生との交流会の準備等が求められます。

初回参加者ミーティング：2007年2月19日頃を予定

質問等問い合わせ先： 応募について [i-ship@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:i-ship@bureau.tohoku.ac.jp)

研修内容について [svtour@tohoku-u.us](mailto:svtour@tohoku-u.us)

---

#### ツアー日程詳細(予定)

4月26日(木)

成田空港集合

夕方、成田発

4月26日(木)

午前、サンフランシスコ空港着

午後、USオフィスオープニングセレモニー&レセプション参加

4月27日(金)

東北大学国際シンポジウム参加

4月28日(土)~5月1日(火)

セミナー、パネルディスカッション、企業訪問、大学見学、学生交流等

5月2日(水)サンフランシスコ空港発

5月3日(木)成田着、解散

セミナー講師、パネリスト等

東北大学USオフィス教授、助教授

現地学生、在米留学生、ポスドクなどとの交流(スタンフォード、UCパークレー)

現地起業家によるセミナー

- 平強(たいらつよし)氏、大澤弘治(おおさわこうじ)氏を予定

現地ハイテク企業社員によるセミナー/パネルディスカッション

現地バイオ企業社員によるセミナー/パネルディスカッション、他

[Message from Directors](#)|[Mission](#)|[Activities](#)|[Alumni](#)|[Organization chart](#)|[Contact Us](#)|[Links](#)|[Site Map](#)  
Copyright © TOHOKU University